

地下鉄と市バスの一体運営で便利で安心・安全な 市営交通の発展を求めます(陳情)

陳情趣旨

地下鉄と市バスは利用者の料金収入と市民の税金によって築き上げられてきた市民の財産です。地下鉄は通勤通学等の大量輸送手段として、バスは通勤と合わせて地域になくてはならない移動手段として、両者が一体となった交通ネットワークが提供されてきました。経営面では、地下鉄は平成27年度には約374億円の黒字を生み、かつてのように地下鉄の黒字でバス事業の支援を行うことは充分可能です。

3月大阪市会において「市バス民営化基本方針」が可決されましたが、それまでに「民営化」を前提にした不採算路線の切り捨てなどが行われています。

「民営化」の是非を議論する前に、地下鉄の黒字を活用して、地震・津波への対策やホームの可動柵の設置などの安全対策や、料金値下げ、市バスへの支援で市民サービスの拡充などなすべきことがあります。バスは民間に売却されたら、将来は料金値上げや赤字路線廃止の恐れがあります。

下記項目について陳情します。

陳情項目

- ① 地震・津波、ゲリラ豪雨など地下鉄利用者の安全確保のための防災対策を早急に実施すること。
- ② ホームからの転落を防ぐため、地下鉄の全駅に可動柵を設置し、利用者の安全をはかること。
- ③ 路線バスの運行は少なくとも15分に1本とし、バス路線の新設・復活・改善を行うこと。
- ④ 地域の生活交通を確保するためコミュニティ路線の再編、及び新設を行うこと。

氏 名	住 所

2016年 取り扱い団体